※令和４年度以降入学生用

学校番号	1202

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編　情報Ⅰ　（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇情報社会に生きる私たちは、日々様々な機器やサービスを利用して、情報を取捨選択しています。情報Ⅰでは、正しく情報機器を使いこなし、情報を効果的に伝え、情報社会について考え、その仕組みを知ることを目指します。

- 課題や目的に応じて情報手段を適切に活用する力
- 必要な情報を自分自身で収集・判断・表現・処理・創造する力
- 受け手のことも考えながら発信・伝達する力

このような主体的な情報活用能力を身につけることは、今後情報社会を生き抜くための手がかりとなり、情報を賢く使いこなすまでの道しるべとなるでしょう。

〇実習を多く行ないます。コミュニケーションツールとしての情報機器を扱い、自分の考えを発表したり、レポートにまとめたりする活動を行ないます。

〇教科書の他、学習プリントを使用します。

２　学習の到達目標

A:情報社会を生きていく上での基礎的な知識、問題解決の手段などを知る

B: 情報に関する科学的な見方・考え方、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する

C:情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価基準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	1.情報で問題を解決する 4.データを活用する 5.活動して提案する	座学 　情報社会の在り方を通して、日々の生活とのつながりを考える	座 a：情報社会について理解している b：情報社会での他人とのつながりを考える c：協同作業とともに学習を進めようとする	座 ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃｽﾄ ワークシート	座 ワークシート	座 授業観察 ワークシート 振り返り
		実： 　データ機器の基本操作に習熟する	実 a：機器、ソフトウェアの操作法の習熟 b：ソフトウェアを利用した表現を工夫する c：課題に取り組む	実： ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃｽﾄ ワークシート 課題作成	実： ワークシート 課題作成	実： 授業観察 課題作成
2	2.情報を伝える 4.データを活用する 5.活動して提案する	座 　コミュニケーションの手段等について	座 a：いろいろなコミュニケーションの方法などについて理解している b：最良のコミュニケーションの方法について考える c：協同作業とともに学習を進めようとする	座 ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃｽﾄ ワークシート	座 ワークシート	座 授業観察 ワークシート 振り返り
		実： 　データ機器の基本操作、デジタル処理に習熟する	実 a：機器、ソフトウェアの操作法の習熟 b：ソフトウェアを利用した表現を工夫する c：課題に取り組む	実： ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃｽﾄ ワークシート 課題作成	実： ワークシート 課題作成	実： 授業観察 ワークシート 課題作成

※令和４年度以降入学生用

3	3.コンピュータを活用する 4.データを活用する	座 コンピュータとその仕組みについて	座 a：コンピュータとその仕組みについて理解している b：より良質なプログラムとは何かを考える c：協同作業とともに学習を進めようとする	座 ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃｽﾄ ワークシート	座 ワークシート	座 授業観察 ワークシート 振り返り
	5.活動して提案する	実： 　データ機器の基本操作、デジタル処理に習熟する	実 a：機器、ソフトウェアの操作法の習熟 b：ソフトウェアを利用した表現を工夫する c：課題に取り組む	実： ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃｽﾄ ワークシート 課題作成	実： ワークシート 課題作成	実： 授業観察 ワークシート 課題作成

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に取り組む態度